

シテ奮進セル老練ノ猛卒ヲ指揮シ、敵軍ト相面セルマナキ、然ルニ此努力徒
ラニ無功ニ歸シ、各隊ノ先鋒ハ恐レバキ、彈丸雨注ノ為メニ斃レ、敵分時ニシテ四散
セリ。其時勇將モントカームハ、劇傷ヲ被ツテ斃レ、總軍之ニ由ツテ全ク敗劔ス。

英ノ軍勢ハ総テ前ニ彼等ヲ運ビツ、アリシ間、彼等ノ若キ將帥ノ生命ガ速ニ衰へ去リツ、ア
リシ。時カラ時マデ彼レノ視覺ノ前ニ集マリシ所ノ死ノ霧ヲ濤々去レバク、彼レノ疲レタル
手ヲ以テ試ミツ、アリシ。乍併盡力ガ徒爲ニ見エシ、如何トナレバ現ニ彼レハ後ロニ横ハ
リシ、而シテ重キ呼吸ト而シテ臨時ノ苦呻ノ外生活ノ一ツノ印ヲ與ヘザリシ故ニ。

(譯)英兵軍隊前進スル時、其若將アルノ生命ハ漸ク死ニ向ヘリ。ウルフハ其手ヲ以
テ其眼前ニ臨ミ、末期ノ暗霧ヲ掃フヤ如クナリシモ、其盡力ハ敵テ効ナク思ハ
ル。故ハ直チニ後方ニ倒ホレ、且ツ若息ト應時、呻吟トノ外更ニ生存ノ徵候ヲ示サ
ズルヲ以テナリ。

其間ニ佛蘭西ガ道ヲ與ヘシ、而シテ總テノ方角ニ於テ飛ビツ、アリシ。精兵ノ士官ガ之ヲ見
ル所デ彼レノ聲ヲ聞リ、其等ニマデ呼出セシ、「見ヨ、彼等ハ走ルヨ」と。語ガ死スル所ノ人ノ耳ヲ
捕ヘシ。彼レハ睡眠カテ勦マサレタル人ノ如ク、彼自身ヲ起セシ、而シテ熱心ニ問ヒシ、「誰ガ走
ル手ト」。敵ヨ、彼等ガ何處デモ道ヲ與ヘシ君ヨ」と士官ガ答ヘシ。

(譯)其間ニ佛軍潰エテ四散遁走シツ、アリシ之ヲ見テ英軍ノ精兵士官ハ其周邊ノ人
ニ向ツテ呼メテ曰ク「見ヨ、彼ノ聲ハ走レヨ」と。其聲、今將ニ死セムトスルウルフノ耳

ニ達ス。其時ウルフハ恰モ睡眠ノ覺メタル人ノ如クニ身ヲ起シ、熱心ニ問フテ曰ク
「走ル者誰レシ」と、士官答ヘテ曰ク「將軍閣下ニ走ル者敵ナリ、敵到ル所悉ク潰ス」と。

汝ノ一人ハ、「コロナル」パートシニマデ行ケトウルフガ云ヒシ、「退軍ヲ切リ去ルベク聖、チ
ヤールス河ニマデ下ニ總テ迅速ヲ以テウエブノ隊ヲ進メルベク彼レニ告ゲヨ」。彼レノ聲ガ
彼レガ話セシ時ニ衰ヘテナリシ、而シテ彼レハ恰モ尙容易ナル位置ヲ求ムルヲ手ノ如ク彼
レノ傍ニ轉向セシ。彼レガ彼レノ最後ノ命令ヲ與ヘタリシ時ニ彼レノ目ガ死ニ於テ閉ヂシ。

(譯)ウルフ剛チ曰ク「兄等ノ中一人「コロナル」パートシノ所在ニ行キ敵兵ノ退去ヲ懸
斷スル爲メニ聖チヤールス河ニ向ヒ速ニウエツブスノ一隊ヲ進行セシムベシト
告ゲヨ」と。ウルフ此語ヲ爲ス時ニ其聲漸ク衰ヘ而シテ其身ノ安ラカナル位置ヲ索
メムトスルガ如クニ其傍ヲニ轉向ヒリ、其最後ノ命令ヲナシ終レル時直チニ兩眼
ヲ閉テテ逝ケリ。

ウルフノ妹ハ木乃伊ニサレシ、而シテ英倫ニマデ運送ニ向ツテ河ニマデ擔ハレシ。軍勢ガ落
ニマデ嚴格ナル有様ニ於テ其レヲ護送セシ。彼等ハ彼等ガ勇敢ニ戰爭ニ於テ彼レニ從ヒタ
リシダケ其レダケ誠實ニ彼レノ若キ將帥ノ死ヲ哀ミシ。

(譯)ウルフノ屍ヲ木乃伊トナシ、之ヲ英國ニ送ラム爲メ河畔ニ運ブ。軍隊ハ嚴肅トシ
テ之ヲ護送シ以テ落ニ至ル。士卒諸輩ハ丹心誠意ウルフノ指嚮ニ從ツテ勇戦シタ
ル如ク、茲ニ其死ニ遭フナヌ丹心誠意之ヲ哀悼セリ矣。

第九十七章

田舎ノ墓地ニ於ケル悔歌

晚鐘ガ別レル所ノ日ノ響チナラス、鳴ク所ノ羊群ハ徐々ニ牧場ヲ越エテ廻ル百姓ハ彼等ノ疲レタル道チ家方ニ稼グ、而シテ暗黒ニマデ而シテ私ニマデ世界ヲ見捨テル。

(講)鐘の響は暮を告げ、鳴ける羊の一群は、やをら牧場を去りて行き、農夫は日ののわざを了へ、疲れて家路に向ひたり、四邊は漸々くらくあり、夜時時は夜とある。

今微カナル景色ガ視覺ニ於テ消失ス、而シテ「ビートル」(蟲)ガ彼レノ不正ナル飛行チ回轉シ而シテ忘リタル「ティンクル」云フ音ガ隔リタル群集ヲ靜メル所ノ外總テノ空氣ガ嚴格ナル靜安ヲ保ツ。

(講)おぼろげなり、夕景色、今は全く消え失せぬ。世界はいとゞ静まりて、唯「ビートル」のバタバタと飛び廻りてぞ鳴く聲の、遠音かまかに響くのみ。

彼處ニ鷲ノ外衣チ着ケタル塔カラ鬱鬱ナル鼻ガ彼女ノ秘密ノ家ニ近ク彷徨シツ、彼女ノ往昔ノ寥々タル地方チ妨グル如キ斯様ナルモノニ就イテ月ニマデ愁訴シナスノ外。

(講)鷲の墓のからみたる、彼處の塔を飛び出で、自己が保の邊を廻り廻り、さやかく澄める月影の、いとゞ淋しき有様を、破るをなげく鼻の、わびしき聲の、聞ゆの。

其等ノ粗キ楡樹、其水松樹ノ影ノ下ニ多クノ腐敗スル所ノ堆積ニ於テ紳士ガ高マル所ニ、永久ニ置カレタル各彼レノ狹隘ナル穴ニ於テ小邑ノ民ノ粗キ先祖ガ眠ル。

(講)楡や水松の樹蔭ある、野土堆積する邊の、墳墓にこゝらの村人の、祖先の死體は

香氣ヲ呼吸スル所ノ朝ノ軟風、藁道リノ假小舎カラ囀ツル所ノ燕、牡鷄ノ鋭キ聲、或ハ返響スル所ノ喇叭ガ最早彼等ノ低キ臥牀カラ彼等チ起サヌデアラウ。

(講)香氣を送る朝の風、芽命を出で、鳴く燕、八聲の鳥の鳴く聲や、響く喇叭の音さへも、墳墓に眠る祖先をば、呼び覺ますことあらじか。

彼等ニ向ツテ最早輝ク所ノ火爐ガ燃エヌデアラウ、或ハ忙シキ妻ガ彼女ノ日晡ノ注意チ急ガヌデアラウ、一ツノ小供等ガ彼等ノ父ノ歸リニアマヘルベク走ラヌデアラウ、或ハ猜ミタル接吻チ分前ヘスベク彼レノ膝ニ攀ギヌデアラウ。

(講)果敢なき人の其爲めに燃ゆる火爐も今はなく、夕餉の仕度忙かき妻の注意も要あらず、父の歸りと喜びて、走る小供もあらぬあり、父に接吻ゆるを、羨み猜み我先きと、膝に登るのともあり。

屢々彼等ノ鎌ニマデ收穫ガ從ヒナセシ、彼等ノ畦ガ屢々頑固ナル地チ破ツタ、彼等ハ如何ニ面白ク彼等ノ家蓄チ追ヒナセシヨ、彼等ノ強キ打ツノ下ニ木ガ如何ニ曲リシヨ。

(講)果敢なくあり、八々の、未だこの世に在りし時、鎌をふるひて田や畑の、收穫ものを知り取りつ、堅き畦土掘り返へし、牛馬を追ひて畑を動き、土地を開くに木を伐れり。

功名心ヲシテ彼等ノ要用ナル勞力、彼等ノ家内ノ快樂及ビ知ラレザル天運ヲ弄セシメナ、又ハ富貴ナルモノヲシテ賤シミタル微笑ヲ以テ貧者ノ短ニシテ單ナル年代記ヲ聞カシメナ。

(譯)名譽を望むその人も、愚夫の要ある勞力や、それが家内の樂しきや、自らなる運りにて、幸福を笑ふよ、富めるも貧しき人々の、いと賤村けきありゆきを、昇りか笑ふ事ふかれ。

詩名ノ高慢權力ノ華飾而シテ管テ與ヘラレタル總テ其美麗總テ其富ニハ同ク避クヘカラザル時ヲ待ツ——名譽ノ道ハ唯墓ニマテ導ク。

(譯)恃むに足らぬ名を恃み、權力威勢に誇るときも、待て—總ての美や富は、早晚失ふ時きたる、生者必滅物の數、名譽の道は墓に行く。

又ハ誇リタル汝ユ、汝ハ此等ニマテ誤リヲ歸セヌ若シモ記憶ガ彼等ノ墳墓ノ上ニ一ツノ勝利物ヲ起サヌナラハ其處ニ長ク導カレタル廊下及ビ混亂シタル圓形天井ヲ通ホシテ響ク所ノ頌徳歌ガ附隨ノ記録ヲ撰ケル。

(譯)誇れる人は死して後ち、賞讃隨處せらるべきに、うれにひきかへ世の人の、うの名を記するものなきも、其原因は前に云ふ、うの誤りに歸せざるぞ。

話サレタル屍體、又ハ勢ヒツケラレタル半身像ガ其家ニマテ過ギ行ク處ノ呼吸ヲ呼返ヘシ能フ乎、名譽ノ聲ガ嘿シタル塵ヲ引起シ能フ乎又ハ温言ノ慰メガ死者ノ冷ヤカナル耳ヲ疲ラシ能フ乎。

(譯)いと美麗なる屍體、巧に成り—骨骸も、縞は—呼吸を得返へさじ、名譽を傳ふ其聲も、死せる體を生かさまじ言葉やはらげ感むるも、死者の耳には通ふまじ。

恐ラクハ此捨テラレタル點ニ於テ一度天上ノ火ヲ以テ孕マレタル或心帝國ノ棒ヲ振廻ハシ能フタ所ノ或ハ活潑ナル樂器ヲ弄フベク起キ能フタ所ノ手が置カル。

(譯)思ひはかるに草拔かず、塵も掃はで打捨て—墓の中はうの昔—天意を奉せ—うの心、國の機をは握りたる、うの手も埋れてあるぞか。

乍併彼等ノ眼ニマテノ智識ガ時ノ消費ヲ以テ富ムタル彼女ノ大ナル給仕人ヲ誹シテ露ハシナサトリシ、寒キ欠乏ガ彼等ノ貴キ暴怒ヲ鎮メシ、而シテ精神ノ自然ノ流潮ヲ凍ラセシ。

(譯)されどそれ等の人々の、智識は時を費やして、高ゆ得たり—ものなれど、これを誇るの事もせず、ものに乏しきうのゆへに、榮耀榮華にまれもせず、こゝろ清くて世を送る。

最純潔ナル光線ノ甚ダ多ク、寶石ヲ大洋ノ暗黒ナル謀ルベカラザル洞穴ガ持ツ、甚ダ多クノ花が見ラレザル赤色ニマテ生シテアル而シテ荒レタル空氣ニ於テ其レノ快樂ヲ荒ラス。

(譯)光輝いと清き寶石は太平洋のいと暗き、はかり知られぬ洞に在り。花は色よく咲くにだも、荒き嵐に散り失はる。

恐レナキ胸ヲ以テ彼レノ野ノ小サキ暴君ガ抵抗セシ所ノハムアデンナル或村落、或ル嘿シタル名譽ナキミルトン彼レノ國ノ血ニ就テ罪ナキクロムエルガ此處ニ休ミ得ル。

(講)大膽不敵の事の故に、そのれが國の壓制に抵抗したるハムブアン、名譽少なきミルトンヤムのれが國の流血に、辱をき人あるクロムエル斯る人々墓に在り。

聽ク所ノ議場ノ喝采ヲ命ズベク痛及ビ廢滅ノ促ガスヲ賤シムベク笑フ所ノ土地ノ上ニ澤山ヲ散ラスベク而シテ國民ノ眼ニ於テ彼等ノ歴史ヲ讀ムベク彼等ノ部分ガ禁セシ又ハ彼等ノ生長スル所ノ徳ヲ限ルノミナラス尙又彼等ノ罪ヲ限リシ、——殺戮ヲ通ホシテ王位ニマテ踏込ムベク禁セシ而シテ人類ノ上ニ慈悲ノ門ヲ閉ヅベク(禁セシ)

(講)元老院に既を演べ、聽く者をして感ぜしめ、苦痛と毀滅に恐れ多く、名譽を毀く高く上げ、其功績の歴史をば、國民の眼に曝さしむ、其を運命が禁じたり、日を逐ひ増せるその徳を、限るのしかば罪をいも、——人を殺して王位をば、奪はむずるを禁じたり、人に對する慈悲の戸を閉づる事をも禁じたり。

自覺ノ信實ノ争フ所ノ苦痛ヲ隱スベク巧ミナル耻辱ノ赤面ヲ消スベク又ハミニューズ女神ノ名譽ニ於テ燒カレタル燒香ヲ以テ奢侈及ビ驕傲ノ神机ニ積ムベク。狂スル所ノ群集ノ賤シキ争鬪カラ遠ク彼等ノ沈着セル望ミガ決シテ生活ノ冷カナル遠ザカリタル谷ニ添フテ迷フベク學バサリシ、彼等ハ彼等ノ道ノ靜穩ナル意味ヲ保チシ。

(講)自ら覺る眞實のせめや苦痛を隱そべく、恥に赤らむおも、ちをいどや巧みに隠そべく、又はミニューズの女神をば崇拜のため燒く香を、奢侈高慢の神机に、堆きまで積む上ぐべく、もの狂はしき群集の、いと卑しいの争ひに、蓋か屬して落着ける、それら

の望み生活の、冷かく遠き谷に沿ひ、送ふの事は既になく、静けき道の意味を持つ。

尙又賤シミカラ此等ノ骨ヲ防守スベキ奇異ナル詩文及ビ飾ラレタル不恰好ナル彫刻ヲ以テ尙近ク建設サレタル或脆キ記念碑ガ長大息ノ非常ナル歸依ヲ希フ。學バザルミニューズニ依ツテ綴ラレタル彼等ノ名ト彼等ノ年ガ名譽及ビ悔歌ノ場所ヲ滿タス而シテ死スベク田舎ノ道德家ニ教ユル處ノ多クノ神聖ナル經典ヲ彼女ガ撒布ス。

(講)世の輕蔑を防ぐ爲め、なほ、ならぬ時を刻み、形を離く飾りたる脆き記念碑設けてぞ、見る人をして追想の、歎息をこら出さしむ。學ばぬ人の、毀りたる、その名りの年いづれ共、名譽と悲歌を讀みたり死ねよて田舎の徳義家に、教ゆる多々の聖典を名譽と悲歌は傳へたり。

第九十八章

セルモゼーレノ戦争、

第一部

其處ニ希臘ニ於テ戰慄スル事ガアリシ。希臘人ガ東洋ノ主タル主權者其人ノ領土ガインデアアンカウカスカライーシアスマテ裏海カラ紅海マテ擴ガリシ處ノ主權者ト呼ビシ如ク(大王)ハ東方地中海ノ岩及ビ入江ノ中ニ渡世セシ所ノ小ナル自由諸州ニ對シテ彼レノ軍勢ヲ整ヘツ、アリシ。

(講)在昔 그리스 國ニ戰慄スベキ事變起レリ、希臘人東洋ノ首領ト稱呼スル大王、東

方其中海ノ沿岸ニ散在セル小自由國ヲ征略セムトテ軍備ヲナセリ、此大王ノ所領
タルインデアノ高加索ヨリイリシマスニ至ルマテ、亞細亞ヨリ紅海ニ至ルマテ延
亘セリ。

既ニ彼レハアキペラゴノ東方ノ海濱ニ於テクリク人ノ膏養シタル殖民ヲ蠶食シタリシ
而シテ本國ノ定律令ニマテ各ノ好賊ハ其專制ノ朝廷ニ於テ容易シタル隱レ場ヲ見出セシ
シテ侵入スベキ感激ヲ低語スルコトニ依ツテ彼自身ノ惡事ヲ復仇スベク試ミシ。

(譯)大王既ニアキペラゴノ東岸ナル希臘殖民地ヲ蠶食セリ而シテ此群島ノ居民
ハ本國政府ノ律令ニ背叛シ專制王ノ保護ヲ仰キ且ツ之レニ勸奨スルニ群島ヲ侵
略セムヲ以テシ、之ニ由ツテ從來自己等ガ家ヲタル不正ニ復セムトセリ。

「至テノ人民國民及ヒ國語」ガ其王ノ朝廷ノ命令ノ始メデアリシ。而シテ其レガ辛シテ無益
ナル高慢デアリシ、如何トナレバ彼レノ知事ガ從屬ノ王國ヲ越エテ支配セシ而シテ彼レノ
貢納ノ國民ノ間ニ彼レガ彼レノ學問及ヒ古キ文明ヲ以テノカルテア人及ヒ才智ニシテ且ツ
堅硬ナル猶太人、熟練ナルフェニシア人、學ビタル埃及人、沙漠ノ粗暴ナル劫掠スル所ノアラ
ビア人、黒キ皮膚ノエシテピア人ヲ計算セシ、而シテ總テ此等ヲ越エテ再餘ノ總テノ勝利者
ナル及ヒ自負シテ不死ト呼ビタルバシタル隊ニ依ツテ導カレタル敏捷ナル才智ノ、活發
ナル、土人バシタル種族ガ支配セシ故ニ。

(譯)此王國創立ノ時ニ當ツテ、用器ニ其他ニ異種ノ人民及ヒ國民ヲ統轄管理シタル

是レ實ニ虛榮ニ非ラザルナリ。則チ專制王ノ流毒シタル諸知事ハ從屬國ヲ統治シ、
而シテ王國ニ貢賦ヲ納ル、諸國民ニハ學術長ク往昔文明ノ城ニ遊ミタルカルテ
ア人、智ニシテ豪ナル猶太人、經驗ニ富メルフェニシア人、學藝ニ長クタル埃及人、沙漠
内ニ横行シ劫掠ヲ嗜トスル粗暴ナル亞刺比亞人、皮膚黒色ナルエシテピア人アリ、
總テ此等諸國民ヲ管治スルモノハ惡敵顯聖ナル波斯人種ニシテ、從來他邦ヲ征略
シ不死隊ト誇稱スル軍隊ヲ引率セリ。

彼レノ多クノ首府——巴比倫ズニグレート、スーサ、パーセポリス而シテ斯ノ如キ——ガ王
自身ノ足ニマテ貢納ヲ運ビタリシ所ノ小亞細亞カラノ印度人ニ依ツテ或ハ專制ノ朝廷ニ於
テ總テ余リ利益スベクアルコトカラ困難ヲ以テ免レタリシ所ノ朝臣ノ奴隸ニ依ツテ今而シテ
然ル時ニ解明サレタルクリク人ニマテ夢ノ如キ壯麗ノ名デアリシ。

(譯)此王國ノ許多ナル都府(巴比倫ズニグレート、スーサ、パーセポリス等)ハ壯麗偉大
クバキモノニシテ、皆テ專制大王ノ階下ニ貢賦ヲ納メタル小亞細亞ノアイチニア
人又ハ暴戾無道ナル王ノ内廷ニ苦使虐使セラレ、ノ難ヲ見レテ道走セル廷吏ノ
屢々之ヲ語ル所ナリ、然リ而シテ之ヲ聞ク希臘人ハ實ニ夢想ノ感ヲ起ス。

而シテ此巨大ナル帝國ノ君主ガ將ニ國ノ小郡ニ對シテ彼レノ無算ノ軍勢ヲ起スベクアリ
シ、其レノ至キモノガ辛シテ大ナル亞細亞ノ王領ノ一洲ニ一様デアラウヨ。且又其レハ人ニ
於テノミナラズ尙ホ靈等ノ神ニ於テノ戰爭デアリシ。波斯人ハ太陽ノ及ヒ火ノ熱心ナル禮

拜者アリシ彼等ハグリーク人ノ偶像信者ヲ嫌ヒシ、而シテ彼等ノ道ニ於テ落チシ所ノ各ノ殿堂ヲ辱メ且ツ掠メシ。死及ビ敗壞カス様ナル手ニ於テ向ツテ眺メラレ能ヒシ所ノ幾ノド最能キ者デアリシ——彼等ノガ征服者ニマデ貪食ニ落ツルデアラウナラバ、狂惡ナル野蠻ナル君主カヲ奴隸及ビ苦痛ガ唯餘リ必然ニ數ノ運命デアラフアヲウ。

(註)此非特ナル大國ノ君主、無數ノ大軍ヲ起シテ將ニ地中海邊ノ小國ヲ征服セムトス、而シテ其當サニ征略スベキ數小國ヲ合シテ大々唯儲カニ亞細亞ノ大王領土中ノ一洲ニ匹敵スル耳。此軍ヲ起スヤ唯ダ國民ノ征服ヲ目的トスルニアラズシテ尙又神事上ノ關係ヲ有ス、則チ波斯人ハ太陽及ビ火ヲ熱心ニ崇拜スルモノニシテ、痛クグリークノ偶像禮拜者ヲ嫌惡セリ、爾リ而シテ其軍向フ所殿堂ニ逢ヘバ、輒チ之ヲ辱シメ之ヲ抄掠ス。殺戮及破却ノ難ニ遭遇スルハ、期ノ如キ殘虐暴戾ナル君主ノ爲メニ其國ヲ略略セラレ士民之ニ服シテ苦役處遇セラルルハ、ノ艱苦ヲ嘗ムルヨリ寧ロ良好ノ策ト云フベシ。

十年遡リテ以前ノ大王ガアツテネカノ海岸ノ上ニ著シク破ラレテアルベク彼レノ最良キ軍勢ヲ送リシ事ノ其レハ信實デアリシ、乍併マラアンニ於ケル失敗ガ征服ノ波斯人ノ強慾ヲ唯ダ憤勵シタリシ、而シテ新王サークセスガ希臘人ヲ碎破シ且ツ數ノ單ナル勢力ニ依ツテ彼等ノ國ヲ蹂躪スルデアラウ如キ斯様ナル人ノ數万ヲ集メツ、アリシ。

(註)今ヨリ十年以前、前ノ波斯大王其精選ノ軍隊ヲ希臘ニ派遣シ、アスアイ城ノ海濱

ニ於テ其軍大ニ覆數セシ、是確タル事實ナリト雖モ、マラアンニ於ケル其失敗ハ唯ダ波斯人征服ノ貪念ヲ鼓舞シタルノミ而シテ新波斯王サークセスハ希臘人ヲ粉碎スベク且ツ干戈ヲ動カサルモ唯ダ其軍勢ノ無數ナルノ威ヲ以テ希臘全國ヲ蹂躪スルニ足ルベキ數万ノ兵ヲ集メタリ、

本營ハサーデイスニ於テアリシ、而シテ其處ニ希臘ノ間諜ハ王ノ從者ノ無數ノ集會及ビ有様及ビ壯麗ヲ見タリシ。使臣ガ陸ト而シテ海ガ彼レノデアリシ事ノ表號トシテグリースニ於ケル各洲カラ土及ビ水ヲ要求スベク彼レカラ來ツタリシ、乍併各洲ガ自由デアアルベク決定シテアリシ、而シテ彼レノ道ニ於テ第一ニ橫ハル所ノスエツサーリーノミガ順服ノ徵表ヲ與ヘルベク一致セシ。

(註)波斯軍ハサーデイスニ本營ヲ置ク希臘ノ間諜此地ニ來ツテ波斯王ノ從者ノ華麗壯麗及ビ無數ノ群衆ヲ目撃セリ。波斯王ノ使者來ツテ希臘各洲ニ告グ、曰ク海陸總テ波斯王ノ有タルヲ表スル爲メ、各洲ヨリ土及ビ水ヲ納ルベシト、然ルニ各洲ハ不羈自由ヲ望ムテ之ニ服セス唯ダ波斯王進路ノ最初ニ當レルスエツサーリー一洲ノミ服從ノ表ヲ納ルハヲ諾ス。

會議ガコリンスノ地峽ニ於テ保タレシ、而シテ防禦ノ最良ナル方便ヲ考ヘルベク希臘ノ總テノ洲カラノ委員ニ依ツテ出席セラレシ敵ノ艦ガイオーシアノ海ノ濱ヲ廻ツテ周航スルデアラウ、陸軍ハ一緒ニ固結サレタル艦ノ橋ニ於テヘレスボントヲ横切リ而シテ希臘ニマデ南

方ニ進ムデアラウ。

(譯)軍會ヲコソリシニ地峽ニ開キ希臘各洲ノ委員出席シテ防禦ノ策ヲ議ス。波斯ノ海軍ハイーシアン海軍ヲ艦隊シ、陸軍ハ編隊ヲ運搬シテ舟楫トナシ之ニ依ツテヘレスポント海峡ヲ渡リ南進シテ希臘ニ突入スベシ。

危難ヲ轉ズルヲ唯ダノ希望ハ、地面ノ天然カラ、唯ダ二三ノ人ガ一度ニ於テ手ニマテ手ニ戰ヒ能ヒシ事ホド左様ニ狭クアリシ如ク希臘ナル通路ヲ防守スルヲニ於テ横ハル、其故ニ勇氣ガ數ヨリモ尙多ク有益ニ就テアルデアラウ。

(譯)波軍長寇ノ難ヲ救フニ就テ唯恃ム所ハ、天然ノ地形狹隘ニシテ唯ダ二三ノ人相控シテ戰ヒ能フ如キ通路ヲ擇ビテ之ヲ防守スルノ一事ニ在リ、斯ル場合ニ臨ミテハ兵數ノ多寡ニ依ラズ其勇氣如何ニ依ツテ勝敗ヲ決スルヲ得ルナリ蓋シ希臘ノ寡ヲ以テ波斯ノ衆ニ敵スル須ラク大兵ノ用ニ難キ要害ヲ擇バサルベカラザルナリ。

此等ノ狹路ノ第一ノモノハテムプト呼バレテアリシ、而シテ軍勢ノ一隊ガ其レヲ護衛スベク送ラレシ、乍併彼等ハ之レカ不用テ而シテ出來難クアリシ事ヲ見出セシ而シテ再ビ歸リ來リシ。次ギガセルモビーレデアリシ。チソポポントノ大嶋ニ向ツテ或ハイウボニア云フ其老ヒタル名ニ向ツテ汝ノ地圖ヲ眺メヨ。

(譯)要害トシテ據守スベキ第一ノ狹路、之ヲテムプト稱セラルタル地トス、一隊ノ軍

勢其地ヲ護衛セム爲メニ派遣セラレタリト雖モ之ヲ防守セムト雖モ多キヲ認メテ軍ヲ遣ヘス。第二ノ要害之ヲセルモビーレトス。今其地位ヲ知ラムト欲セバ宜シク地圖ヲ披ヒテ眼ヲネグロポント大島(則チ其舊名イウホーア)ニ注グベシ。其レガ海岸カラ離レテ破ラレタル一片ノ如ク見ユル而シテ北ニマテ其レヲ越エテ適當デアラウ所ノ灣ニマテ走ル所ノ嘴ヲ以テ島ノ頭ノ如ク形造ラレテアル。嶋及ビ海岸ノ間ニ非常ニ狹隘ナル海峡ガアル。波斯ノ軍勢ガ灣ノ縁ヲ廻ツテ進ムベク持ツデアラウ。彼等ハ國ヲ横截シテ眞直ニ切り能ハザリシ如何トナレバチイタ呼バレタル山ノ畦ガ高マリ且ツ彼等ノ道ヲ支ヘシ故ニ。

(譯)其地形海岸ヨリ切斷シタル一片ノ如ク見ユ、而シテ島取狀ヲナシテ北方ニ延長シ、其間ニ當ル所ハ運ク灣内ニ突出ス。該島ト海岸ノ中間頗ル狹隘ナル海峡アリ。波斯軍ハ此處ヲ通行スルニ必ズヤ灣邊ヲ周リ進マサルヲ得サルベシ。チイタノ山背高ク聳立シテ進軍ヲ遮ルヲ以テ波斯兵ハ國內ヲ横過スルヲ得ズ。

實ニ森、岩及ビ峻坂ハニツノ場所ニ於テ其處ニ其レノ南ノ側ニ於テ灣ノ端ヲ形成セシ所ノ嶮所及ビ難通過ノ沼ノ間ニニツノ單ナル車輪ノ轍ニ向ツテ只塙所ガアリシヲホド左様ニ海濱ニ近ク下リシ。

(譯)實ニ鬱蒼タル樹木巖石及ビ險阻ハ烈シク波浪ト相接シ、其南方ノ灣邊ヲ成セル嶮所ト通行スベカラザル沼ノ間ニ僅カニ一車輪ヲ過スルニ足ルノ餘地唯ダニケ

所アル耳。

此等ノ二ツノ甚ダ狹隘ナル場所ガ路ノ門ト名ヅケラレテアリシ、而シテ凡ソ一哩離レテアリシ。其處ニ間ニ在ル所ノ場所ニ於テ殘サレタル僅カ尙多クノ廣サガアリシ。之レニ於テ其處ニ入浴スベク病氣ニ向ツテ用ヒラレテアリシ所ノ暖カナル鐵質水、鹽及ヒ硫黃ノ如キモノ、泉ノ數ガアリシ、而シテ斯様ニシテ場所ガセルモヒール則チ熱門ト呼バレテアル。

(譯)上述ノ二ヶ所ノ頗ル狹隘ナル地ヲ徑門ト稱ス、甲乙相距ルト凡ソ一哩許。其中間ノ地ニ積々廣キ路アリ。其邊入浴シテ以テ病症ヲ療治スベキ鐵泉、鹽泉、硫磺泉等數多ノ泉アリ是ヲ以テ此地ヲセルモヒール則チ熱門ト稱フ。

障壁ガ其レノ兩傍ニ於テ住ミシ所ノフェツサリ一人及ヒフ、シア人が相互ニ戰爭ニ於テアリタリシ時ニ、一度此等ノ狹隘ナル場所ノ極西ヲ横切ツテ登マレタリシ、乍併其レハフ、シア人が(急流ノ床其レニ)依ツテ此沼多キ海岸ノ路ヲ周リテ行クコトナシニ一ツノ地方カラ他ニマデ岨ナル狹キ山徑ガ其處ニアリシコト見出シタリシ以來敗類ニマテ行クベキ免サレテアリシ。

(譯)曾テ其兩傍ニ住メルスエツサリ一人トフオシア人ト五ニ千戈ヲ交ヘシ時此狹隘ナル地ノ極西ヲ横切シテ登陸シテ乘キタリシニ、後チフ、シア人或ル急流ノ河床ニ沿フテ崎嶇タル山徑ノアルヲ發見シ、是ヨリ復々隘路ノ用アラザルヲ以テ斷々廻環ニ歸ス、蓋シ此山徑ニ依リ、瀾羅ナル海岸道ヲ周行セザルモ甲地ヨリ乙地ニ到ル

チ得ベケレバナリ。

其故ニ之レガ防守スベキ卓越ノ場所デアリシ。グリークノ綴ハ海峽ニマテ得ルコトカラ波斯ノ船ヲ、及ビ徑ヲ越エテ上陸スル所ノ人ヲ防グベクイウボニアノ尙道カナル側ニ於テ總テ備ヘラレテアリシ、而シテ軍勢ノ一隊ガ熱門ヲ守護スベク彼方ニ送ラレシ。地峽ニ於テノ會議ガ山ノ通路ニ就テ知リナサリシ而シテ總テガ波斯人が海岸路カラ保タレシ間ハ安全デアアルデアラツコト考ヘシ。

(譯)故チ以テセルモヒールハ敵軍ヲ防クニ極強ノ要地タリ。希臘ノ海軍ハ其全體ヲイウボニア島邊ニ泛ベ以テ波斯艦隊ノ海峽ニ入ルヲ拒ミ、兵士ノ徑ヲ越エテ上陸スルヲ妨ゲムトセリ。而シテ別ニ陸兵軍ヲ派シ熱門ヲ警衛セシム。コリンヌ地峽ニ會セル軍議委員ハ更ニ山徑ノ軍ヲ知ルモノナキヲ以テ皆波斯人ニシテ海岸路ヲ通過スル能ハサル間ハ希臘國ノ安全ナルベキヲ思慮セリ。

此目的ニ向ツテ送ラレタル軍勢ハ種々ノ都府カラデアリシ而シテ凡ソ四千ニマテ上リシ、其レハ二百萬ニ對シテ路ヲ保ツベクアリシ。彼等ノ引卒者ハ、希臘ニ於テ總テ他ノ者ノ上ニ耻ヨリハ尙僅カ際限ナク死ヲ恐ル、所テ強キ兵士デアアルベク其レノ息子等ヲ訓練セシ所ノ都府ナルスパータノ二ノ王ノ一人ト近來ニナリタリシ所ノレチニダスデアリシ。

(譯)熱門防禦ノ爲メニ派遣サレタル軍隊ハ希臘諸洲ヨリ出ダセルモノニシテ、其數無慮四千人ニ上ル、之ヲ以テ波斯軍ノ二百万ニ對抗シ、海岸ノ通路ヲ遮ルニアリ。其

提督ハスパータノ二王中其一人ニ近來擧ゲラレタルレテニダスナリ、スパータハ
希臘國內ノ一洲ニシテ、爾餘ノ諸洲ニ冠絶シ其壯丁ヲ訓練シテ強兵タラシ、而シ
テ其兵皆壯ヲ重シシ死ヲ輕ンズルノ勇風アリ。

レオニダスハ既ニ遠征ガ蓋シ彼レノ死デアラウヲノ彼レノ心ヲ定メタリシ、如何ト
ナレバ恐ラクハスパータガハキユルスノ種族ノ彼女ノ王ノ一ツノ死ニ彼ツテ助ケラレテ
アルデアラウヲノ豫言ガデルフヒノ殿堂ニ於テ與ヘラレタリシ故ニ、彼レハ法律ニ依ツテ
彼レト共ニ三百人ヲ取ルベク、而シテ此等ヲ彼レハ最多ク注意シテ擇ブベク免サレテアリ
シ、單ニ彼等ノ力及ビ勇氣ニ向ツテハナク又息子ヲ持チシ所ノ其等ヲ撰ブヲテ(免サレテア
リシ)其故ニ一ツノ親族ガ全ク敗ラレテアリ能ハザリシ。

(註)レオニダスハ既ニ其心ニ此役タル蓋シ我爲メノ死ナルヘキヲ決セリ、惟フニデル
フヒノ殿堂ニ於ケル豫言ニスパータ洲ハキユルス人種ノ王一人ノ殞命ノ故ニ滅
ビズトアリシヲ以テナルベシ。レオニダス法律ノ制定ヲ以テ、常ニ三百ノ兵士ヲ從
ヘ、單ニ強カ勇猛ナルモノヲノミ擇バズ、男子ヲ有スルモノヲ採用シテ部下トナス
ヲ免サレタリ、其男子ヲ有スルモノヲ採用スルハ蓋シ出軍ノ士卒職役スルモ全ク
親族ヲ滅ボスニ至ラザルヲ以テナリ。

此等ノスパータ人ハ彼等ノ奴隸ト共ニ數ノ彼自身ノ分前ヘテ定メシ併給テノ軍勢ガ彼レ
ノ大將ノ下ニ在リシ。三百人ハ彼等ノ葬禮ガ仕送ケラレテアツタリシマデ死ノ精神ガ一ツ

ノ休ミヲ見出サスヲノ其レガ希臘ノ信用デアリシ故ニ、彼等ガ敵ニ依ツテ彼等カラ奪ハレ
テアルデアラウヲノ恐レテ彼等ガ出發セシ以前彼等自身ノ葬式ノ定例ヲ舉行セシヲノ其レ
ガ加之ナラズ云ハレテアル。

(註)レオニダスノ麾下三百ノスパータ人ハ各其奴僕ヲ從ヘ之レト共ニ一伍ヲ成セ
リ然レドモ軍兵總テ其元帥ノ提督ニ屬ス。希臘人ハ死後葬式ヲ了ヘザル間ハ靈魂
落着スルヲナキヲ信ズルヲ以テ、從軍ノ三百人ハ若シ敵軍ノ爲メニ虜トセラレ之
レガ處殺ヲ受クル時ハ其魂途ニ祀ラザルニ至ルヲ恐レ出軍前既ニ各自定例ノ葬
式ヲ營ミタリト云フ。

希臘ナル準備ハレチンダス及ビ彼レノ人々ノ精神ヲ驚カシナサリシ、而シテ彼レノ妻ナ
ルゴゴハ怯心デアルベク或ハ彼レヲ引留メルベキデアラザリシ。長キ前彼女ハ甚ダ小
ナル處女デアリシト彼女ノ一言ハ波斯ノ王カラ遠近ナル消息ニマデ聞クヲカラ彼女ノ父ヲ
助ケタリシ而シテ各ノスパータノ貴女ハ彼女ガ彼等ガ勝利得テ其レヲ連ビツ、カ否ラ
ザレバ死骸トシテ其レノ上ニ擔ハレテ乎。彼等ノ精ヲ以テ若クハ其レノ上ニ戰争カラ歸家
セシバナラヌヲ最克ク愛セシト其等ニマデ云フベク適當デアルベク養育サレテアリシ。

(註)波斯ノ不吉ナル準備ヲ爲スヲ是敢テレナニダス及ビ其部下ノ諸將ノ勇氣ヲ奪フ
ニ足ルベキニアラズ、而シテレナニダスノ妻ゴゴ亦怯心ニシテ瓦人ノ出軍ヲ止
ムル如キ婦女子ナラズ、其未ダ幼ナリシ時波斯王ヨリ其父ニ書面ヲ送ツテ危厄ニ

誘致セムトシタルナ、一言ナシテ父ヲ課メ以テ其災厄ヲ救ムリ。凡テスマーダノ
貴女ハ其良人ノ出軍ニ臨ミ勝ヲ得テ種ヲ授ツキテ歸ル乎。否ラザレハ殿死シテ之
ニ繼セテラレテ歸ルベシトノ別辭ヲ呈スルニ足ルベキ勇氣ヲ持スベク訓養サレタ

第九十九章

セルモビーレノ戦争 第二部

レオニダスガセルモビーレニマデ來リシ時ニフエニシア人ガチータ山ノ栗林ヲ通ホシテ山
徑ニ付テ彼レニ告ゲシ而シテ他ノ端ニ於テ見出ストノ其レガ甚ダ困難デアリシヲテ而シテ
敵ガ決シテ其レヲ發見セシデアラウトノ各ノ出來ベキ事ガ其處ニアリシ事ヲ彼レニ確ムル
所デ山ノ傍ニ於テ上ニ高キ點ニ於テ其レヲ護ルノ特許ヲ持ツベク乞ヒシ。彼レガ承諾セ
シ而シテ暖泉ノ周リニ陣取スル所デ破ラレタル障壁ヲ修繕サルベク起セシ而シテ敵ニ出會
フベキ準備ヲナセシ。

(譯)レオニダスノセルモビーレニ到ルヤフエニシア人ハ之レニ告グルニチータ山ノ
栗林ヲ通ズル山徑アルヲ以テス、且ツ乞フテ日ク願クハ山側ノ高所ヲ陣衛スルノ
特許ヲ得ムト、依ツテ此場所タル他方ヨリ之ヲ見ルヲ難ク且ツ敵兵決シテ此高所
ノ陣衛兵ヲ見得ザルヲ蓋シ保護シ得ヘケント確言ス。レオニダス乃チ之ヲ許シ、温

泉ノ周邊ニ陣ヲ布キ、夫ノ環敷セル障壁ニ修繕ヲ加ヘ以テ敵兵ニ會スルノ準備ヲ
為セリ。

波斯ノ軍勢ハ全地方ヲ蓋ヒツ、見ラレシ而シテ路ニ於ケル南方希臘人ノ或者ノ心ガ沈ムベ
ク始メシ。レロポンチサスニ於ケル彼等ノ家ガ比較上確カデアリシ。彼等ハ寧ろ退縮シ且
ツコリンスノ地峽ヲ防守スベク彼等自身ヲ保タナシ乎。乍併レオニダスハ假令ヒス
パータハ地峽ノ下ニ安全デアリシトハ雖モ、彼レノ北方ノ同盟者ヲ棄ツルノ一ツノ企テ
ヲ持タザリシ、而シテ唯ダ尙遙カナル助ケニ向ツテ使者ヲ送ル所デ彼等ノ位地ニマデ他ノ
ペロポンチサス人ヲ保チシ。

(譯)波斯軍雲集シテ全地方ヲ充塞スルモノ、如シ、是ニ於テ其道ニ當レル南方希臘
人ハ漸ク憂慮ヲ生ズ。レロポンチサス則チ南部希臘比較上安全ナルヲ以テ、寧ろ退イ
テコリスノ地峽ヲ防守スルノ愈レルニ如カサルガ如シ。然レドモレオニダスハ其
本國スパータ則チ地峽以南ニ在ツテ安全ナリシニモ係ハラス其北部同盟諸洲ノ
難ヲ對岸ノ火災觀スルニ忍ビズ此ヲ以テ本國ニハレロポンチサス人ヲ止メ還ク
北部ノ援助ノ爲メニ人ヲ送レリ。

直チニ馬背ニ於ケル波斯人ハ路ヲ探偵スベク乘リシ。彼レハ障壁ヲ越エテ見能ハザリシ、乍
併其レノ前向ニ於テ而シテ堡障ニ於テ彼レハ、彼等ノ若干ハ活潑ナル嬉戲ニ於テ而シテ他
ノ者ハ彼等ノ長キ髮ヲ梳ルヲニ於テ關ハラレタル、スパータ人ヲ見シ。彼レハ王ニマデ後ニ

騎リシ而シテ彼レが見タリシ所ノモノヲ彼レニ告ゲシ。

(講)道チニ馬ニ跨レル一波斯人山徑ヲ探偵セル爲メニ來レリ、彼レ障壁以外ノ地ヲ見得ザレドモ其前面及ビ壁頂ニスパータータ人ノ或ハ活潑ナル遊戯ヲナシツ、或ハ其長髮ヲ梳リツ、アルヲ見タリ。是ニ於テ中軍ニ歸リ王ニ謂シテ其日擊ノ願ヲ上申セリ。

今ザークセスハ、彼レノ國ニマデ反逆者トナリタリシ、而シテ敵ニマデ補佐者トシテ勸メツ、アリシ處ノデマラタスト命名サレタル追放サレタルスパータータノ公子ヲ彼レノ陣營ニ於テ持テシ。ザークセスガ彼レニ向ツテ送リシ、而シテ彼レノ國人ガ逃走スルノ代リニ斯様ニシテ使役サレテアルベク狂氣デアリシ手就レテ問ヒシ、乍併デマラタスハ困難ナル闘ヒガ疑ヒモナク準備サレテアリシヲ而シテ彼等ガ彼レノ下或大ナル危難ノ上ニ入込ムベクアリシ時ニ其レハ格段ナル注意ヲ以テ彼等ノ髮ヲ整ヘルベクスパータータ人ノ風習デアリシヲ答ヘテ爲セシ、トハ雖モザークセスハ左様、小ナル軍勢ガ彼レニ抵抗スベク企テシヲ信セヌデアラウ而シテ蓋シ彼レヲ補助スベク彼レノ豫期スル所テ四日間待チシ乍併其レガ見エナサトリシトテ攻撃ガナサレシ。

(講)當時ザークセスハ、自國ニ背叛シテ敵ニ内應セルニ依リ追放ニ遭ヒタルスパータータ國ノ公子ヲ營中ニ留置セリ。公子名ヲデマグラタスト呼ブ。是ニ於テ之ヲ召シ聞フテ日々、獨ノ國人我大軍ノ逼ルニ及ブモ悠々トシテ徒ラニ豫期ヲ事トシ致テ局

章ノ狀ナキモ、蓋シ狂氣セルモノナルベシ或ハ否ラザル乎如何ト然ルニデマラタスハ之ニ答フルニ、是レ狂氣セルニアラズシテ其軍備ノ堅固ナルヲ疑ヒアラズ凡テ彼ノ國人ノ風トシテ將ニ大危急ニ臨ムトスルニ際シ特ニ意ヲ用ヒテ其髮ヲ整フルナリトノ言ヲ以テス。然リト雖モザークセスハ斯ル小軍ノ我大軍ニ抗セムトスルヲ信ズベカラザルノ限リナリトシ、而シテ自國ノ軍隊來ツテ援助スルアラムヲ豫期シ待ツ。四日、是ニ其事アラザルヲ以テ蓋シ攻撃ヲ爲セリ。

尙強キ人デ而シテ尙多ク重ク鎧ハレタル希臘人ハ彼等ノ短槍ト而シテ編ミタル楯ヲ以テノ波斯人ヨリハ利益ニマデ戰フベク益カ尙長ク適當ニテアリシ、而シテ大ナル容易サヲ以テ彼方ニ彼等ヲ打チシ。ザークセスハ後方ニ追ハル、所ノ彼レノ軍勢ノ視ニ於テ失望ニ於テ三度彼レノ椅子ヲ飛ビ去リシ。其レガ云ハレテアル、而シテ斯様ニシテ二日ノ間其レハ彼等自身若ク通ホシテノ如ク左様ニスパータータ人ヲ通ホシテ遠ク遁ルベク容易ニ見エシ。否如何ニ野心ノ王ノ勝利ヲ廣ゲルベク家カラ引カレタル奴隷ノ如キ軍隊ハ彼等ノ打撃ガ彼等ノ家及ビ小供等ヲ防守スベクアリシヲ感ゼシ所ノ自由人民ノ如ク戰ヒ能ヒシ乎。

(講)強健ニシテ堅甲ヲ被ヒタル希臘人ハ短槍ト楯ヲ携ヘタルスパータータ人ヨリ等閑上蓋カニ優越セル伎倆ヲ有ス、而シテスパータータ人ヲ擊テ退タルハ希臘人ノ大ニ容易ナリトスル所タリ。戰爭中波斯王ザークセスハ其軍ノ擊テ退ケラル、狀ヲ目撃シ落膽ノ餘リ其椅子ヲ墮下セシ。三回ニ及ブト云ヒ傳フ。斯クノ如キ狀ヲ以テ戰

争ヲ繼續スルヲ二日間恰モ岩石ヲ徹シテ進ムガ如ク苦辛艱難ニバリーテ軍ニ對シ強シテ前進セリ。嗚呼野心ノ王ノ貪慾ヲ滿タサム爲メ強ヒテ其家ヨリ離サレタル奴隸然タル軍隊ハ其營壘自家ノ血族ヲ保護スルモノタルヲ感シタル自由民ト能ク頷頷スベキ乎。

乍併其日晡ニ於テエフヒアルツト命名サレタル悽慘ナル人が波斯ノ陣マテ這ヒシ、而シテ後陣ニ於テ勇膽ナル防守人ヲ取ルベク敵ヲ適當ニスルデアラウ所ノ山徑ヲ示スベク、貨幣ノ大ナル額ニ向ツテ申出デシ、ヨ。ハイダー子スト命名サレタル波斯ノ將軍が此通路ヲ確メルベク分遣兵ヲ以テ日暮ニ於テ彼方ニ送ラレシ、而シテ丘傍ヲ破ヒシ所ノ繁茂セル森ヲ通ホシテ導カレテアリシ。

(譯)然ルニ其日方サニ暮レントスル比ヒニ及ビエフヒアルツト呼バレタル敵心ノ人密カニ波斯軍ノ營ニ來リ、巨額ノ金ヲ得ムヲ要メテ日ク、一山徑ヲ發見セリ之ヲ經テ軍後ヲ衝カメ守兵必ズ破ルヘシト。輒チ波斯ノ一將ハイダー子スハ一隊ノ分遣兵ヲ授ケ其山徑ヲ堅ムル爲メ、日暮ツルノ頃出發シ導カレテ茂樹鬱蒼タル丘間ヲ經行セリ。

曉天ニ於テ空氣鬱鬱ナルヲニ於テ路ノフホシア人ノ守兵ハ許多ノ足ノ歩行ノ下ニ栗葉ノ爆聲ニ依ツテ驚カサレテアリシ。彼等ハ出立セシ、乍併矢ノ驟雨ハ彼等ニ於テ發セラレシ、而シテ現在ノ驚愕ノ外總テヲ忘ル、所テ彼等ハ山ノ尙高キ部分ニマテ逃レシ、而シテ彼等ヲ

追躡スベク待ツナシニ敵ハ降ルベク始メシ。

(譯)山徑ノ守兵タルフホシア人ハ拂曉ノ大氣靜謐ナル中ニ栗葉爆乎トシテ鳴動シ無敵ノ步履蹇然トシテ懸ガシキヲ聞キ大ニ驚キ。蹶起シテ之ニ趣ク、然レドモ敵兵ノ矢驟雨ノ如ク注グニ避易シ、驚慌狼狽爲ス所ヲ知ラズ、遁逃シテ高所ニ避ク、敵軍之ヲ追躡セズ直チニ隘路ニ向フ。

日が夜明ケシハ朝ノ光輝ガ粗キ森ガ開キシ所ニ急流ノ床ニ於テ燦然タルヲ及ビ輝ク所ノ下ニ希臘陣營ノ番人ニマテ現ハレシ。其レガ水ノ火花デアラザリシ乍併鍍金サレタル鍔ノ光リ而シテ鍍銀サレタル槍ノ閃クヲデアリシ。

(譯)朝暾開チ破ツテ曙光燦然タリ、于時希臘ノ番兵鬱赫ノ万樹ヲ排シテ貫通スル急流ノ邊ニ煌々爛々タル光輝ヲ見ル、是レ流水ノ映光ニ非ラズシテ金甲銀槍ノ閃々タルナリ。

且又シムマリ一人ハ徑ガ表ハレタリシ、敵ガ其レヲ登リツ、アリシ而シテ東方ノ門ヲ越エテ下リ來ルデアラウノ新聞ヲ以テノ陣營カラ障壁ニマテ越エテ這ヒシ。尙徑ハ粗キ且ツ迂遠ナルモノデアリシ、波斯人ハ辛シテ正午前下ルデアラウ而シテ其處ニ彼等ガ敵ニ依ツテ斯様ニシテ閉込メラレ能ヒシ前逃ルベク希臘人ニ向ツテ廣大ナル時ガアリシ。

(譯)此時又シムマリ一人波斯ノ營ヨリ密カニ障壁ヲ踰エテ來リ、告グルニ、山徑敵軍ノ知ル所トナリ之ヲ登リ方サニ東門ヲ越エテ來ラムトスル事ヲ以テス。然ルニ徑

險ニシテ且ツ迂還ナルニ由リ波斯人ハ此處ニ來ラムト早ク正午ニ及ベキヲ以テ我軍敵兵ノ圍ミヲ受クルニ至ル以前、逃走スベキ充分ノ餘時アルアリ。

其處ニ朝ノ献供ヲ越エテ保タル短カキ會議ガアリシ。豫言者ナルメシアシアスハ殺戮サレタル犠牲ノ五臟ヲ吟味スルコトニ於テ彼レガ得シ如ク彼等ノ容貌ガ凶事ヲトセシヲ宣言セシ。レオニダスが退クベク彼レニ命令セシ、乍併彼レガ否ミシ、譬ヒ彼レガ彼レノ獨子ヲ家ニ送リシトハ雖モ。其處ニ保タレ能ハザリシ所ノ陣所ヲ見捨ツルトニ於テ尋常ノ人ニマデ一ツノ耻辱ガアラザリシ而シテレオニダスハ前道ガ開カレテアリシ間彼方ニ進ムベク彼レノ指揮ノ下ニ總テ同盟セシ軍勢カラ推擧セシ。

(譯) 希臘人ハ朝祭ヲ舉行シ終リテ後チ會議ヲ開ケリ、豫言者メシスシヤスハ屠戮サレタル穀ノ跡ヲ剖キ其臟腑ヲ檢シテ公言スラク檢察ノ果凶ヲ示スト是ニ於テレオニダスメシスシヤスニ命スルニ過去ヲ以テス、然ルニ之ニ應ゼズシテ軍ニ殘リ唯ダ其孺子ヲ家ヘ歸ラシメシ耳。爰ニ到底支フベカラサル營所ヲ放棄シ他ニ陣所ルハ是レ常人ノ敢テ履トセザル所而シテレオニダスハ其部下ニ屬セル同盟軍ニ教ヘテ下シ、敵兵道ヲ塞ガザルニ先ダチ此ヲ去ツテ他ニ趨カシム。

彼自身及ビ彼レノスパ―タ人ニ向ツテトシテハ、彼等ガ彼等ノ陣所ニ於テ死スベク彼等ノ心ヲ定メタリシ、而シテ其處ニ斯様ナル決定ノ例ガ若シモ彼等ガ他ノ機會ニ向ツテ彼等身ヲ保ツベク注意シテアリシナラハ曾テ爲シ能ヒシ彼等ノ最良キ努力ヨリハ尙多ク

ヲ助クベク爲スデアラウ事ノ一ツノ疑ヒガアリ能ハヌ。

(講) 既ニ同盟軍ノ退去ヲ免シテレオニダス及ビ其幕下ノスパータ人ハ其陣所ヲ討ニシテ戰死セムト決心セリ、抑モ斯ル決心ヲナシタルト是他ナシ畢竟スパータ人ハ其生命ヲ惜シミ之ヲ助ケムトシテ爲シタル可及的ノ盡方ヨリモ更ニ幾倍ノ死カヲ竭シテ希臘人ヲ助ケムトシタルノ結果タルト疑テ容ルベカラザル事實ナリ。

總テノ同盟軍ハ、マイシナカラ來リシ八十八人及ビ彼等ガレオニダスヲ見捨テデアラウヲテ公言セシ所ノ八百ノスパータ人ノ外退クベク一致セシ。其處ニ又殘リシ所ノ四百ノスパータ人ガアリシ、而シテ斯様ニシテ敵ノ二百萬ニ對立スベクレオニダスト共ニ留リシ所ノ全數ガ、(其人)ノ數ハ知ラレズニアル乍併蓋シ少クモ各ニマデ一人デアリシ所ノ三百ノスパータ人ニ於テ奴隸或ハ從者ノ外一千四百ノ戰者デアリシ。

(講) マイシナヨリ來レル八十人及ビレオニダスヲ捨テザルベシト公言セル八百ノスパータ人ヲ除キ爾餘ノ一切ノ同盟軍ハ退去スルコト一致セリ。其他又四百ノスパータ人留ル、斯ノ如クニシテ茲ニレオニダスト共ニ止マリテ波斯軍ノ二百萬ニ對峙セムトスル軍勢總數一千四百人ナリ但シ三百ノスパータ人ニ附隸セル奴僕若クハ從者ノ數ヲ除ク(此等ノ數ハ知ルヲ得ザレドモ少クモスパータ人各自一人ヲ從ヘタルニ違ハジト信セラレ)

レオニダスハハーキユルスノ血統ヲ要求スル所ノ彼自身ノ如ク陣營ニ於テ二人ノ親族ヲ持

チシ面シテ彼レハスパータニマデ書簡ト而シテ使節ヲ彼レニ與フルコトニ依ツテ彼等ヲ助ケルベク試ミシ乍併一人ハ彼レガ、書簡ヲ運ブベキニアラズ戰フベク來ツタリシコト而シテ他ハ彼レノ功業ハスパータガ知ルベク望ミシ所ノ總テヲ告ケルデアラウコトヲ答ヘシ。

(譯)レオニダスノ宮中彼レト同シク「ハーキエルス」系統ノ者二人アリ、而シテレオニダスハ之レガ生命ヲ助ケムトシテ試ニ自國スパータニ其書讀ヲ授ヘテ使ヒセムコトヲ命ズ、然ルニ甲ハ之レニ答ルニ、予ハ書讀ヲ運ブ爲メニ來レルニアラズシテ戰ハム爲メニ來レルナルコトヲ以テシ、乙ハ予ハスパータ人ガ見ムト欲スル總テノ功業ヲ顯ハサムコトヲ望ムト云ヘリ。

敵ノ弓ハ彼等ノ矢ガ太陽ヲ暗クセシコトホド左様ニ無敵デアリシコトヲ告ゲシ時ニデイーニセスト命名サレタル他ノスパータ人ガ答ヘシ「左様ニ多ク尙善ク、余輩ハ影ニ於テ戰フデアラウ」ト

(譯)敵兵弓手ノ多キコト其矢ヲ放ツニ當ツテハ日光モ爲メニ遮キラレテ暗ラムベシト告ゲタル時他ノスパータ人デイーニセストハ「無敵ノ矢日光ヲ遮ルトハ大ニ善シ余輩正サニ其影ニ立ツテ戰フベシ」ト答ヘタリ。

三百ノ二ハ眼ニ於テノ症カラ烈シク惱ム所デ近傍ノ村落ニマデ送ラレタリシ。イウリタスト呼バレタル彼等ノ一人ガ彼レノ鎧ヲ着ケシ、而シテ列ニ於ケル彼レノ塙所ニマデ彼レヲ導クベク彼レノ奴隸ニ命ゼシ、他ノ者ハアリストデヌスト呼バレタル、他ノ者ハ彼レガ退ク

所ノ同盟軍ト共ニ彼方ニ運ハルベク允サレテアリシ事ホド左様ニ病ヲ以テ壓服サレテアリシ。總テガ行イテアリシ時ニ其レガ尙ホ日ニ於テ早クアリシ而シテレオニダスガ彼等ノ最後ノ食事ヲ取ルベク彼レノ人々ニマテ語ヲ與ヘシ。「今夜、予輩ハプラトート共ニ晚餐スルデアラウト彼レガ云ヒシ。

(譯)三百ノスメリタ人中二人眼病ニ悩ムモノアリ、之レニ依ツテ先キニ送ラレテ近隣ノ村莊ニ在リ。其一人イウリータスト呼バレタルモノ、軍衣ヲ被リ其僕ニ命シテ隊列中已レガ位地ニ導カシム。他ノ一人アリスタアマスト呼バレルハ、病惱頗ル劇シキヲ以テ止ムヲ得ズ自ラ同盟軍ノ退去ニ伴ヒ去ル事ヲ允レタリ。退軍ノ勢全ク去リシ時尙ホ早晩ナリ、此時レオニダスハ其部下ニ語ヲ傳ヘテ訣別ノ餐ヲ執ラシメ。其場ニ曰ク「今夜予輩ハプラトート共ニ晚餐ヲ喫スベシト蓋シ決死ノ旨ナリ。爾來彼レハ防禦ニ於テ立チシ、而シテ彼レノ人ノ生命ヲ愛惜シタリシ、乍併役レハ今希臘ノ名ノ恐レテ以テ敵ニ吹込ムベクダケ左様ニ出來ベクダケ其レダケ大ナル殺戮ヲナスヘク願ヒシ。彼レハ其故ニ攻撃セラルベク待ツコトナシニ障壁ヲ除エテ進ミ出デシ而シテ戰爭ガ始マリシ。

(譯)尙來レオニダスハ防禦ヲ以テ自ラ任シ且ツ其部下ノ生命ヲ重シタリ。然レドモ茲ニ敵ヲシテ希臘人ノ名ヲ恐レシムベク、爲メニ可及的ノ大殺戮ヲ爲サムトノ望ミヲ起シ、之ニ由ツテ敵兵ノ來襲ヲ待タズ之ニ先テ障壁ヲ除エ進ンテ戰ヒナ

波斯ノ「キヤブアテン」ガ彼等ノ難澁ナル軍隊ヲ越エテ行キシ而シテ鞭ヲ以テ戰ヒニマテ彼等ヲ鞭ウチシヨ。憫レナル難澁者ヨ、彼等ハ希臘人ノ槍ヲ以テ貫カレテ、海ニマテ投ケラレテ或ハ沼ノ泥ニマテ踏付ケラレテ殺戮サルベク逐ハレテアリシ、乍併彼レ等ノ盡スベカラザル數ガ遂ニ告ケシ。希臘人ノ槍ガ困難ナル務メノ下ニ破レシ、而シテレオニダス彼自身ハ殺戮ノ最初ノ者ノ間ニアリシ。

(譯)波斯ノ隊長ハ憂怖怯懦ナル其軍隊中テ巡行シ、兵士ヲ鞭撻シテ強ヒテ戰ハシム。憫ムベシ懦兵、彼等ハ希臘人ノ槍ニ貫カレ、海ニ投セラレ、沼澤ノ泥中ニ踏付ケラレ、鬪逐サレ殺戮サレタリ。然レドモ其兵數衆ト無盡藏ナルヲ以テ衆寡戰チ敵セズ。遂ニ希臘ハ槍折レ銼挫ケ武器徒ラニ地上ニ捨テラレ軍漸ク潰エ而シテ將帥レオニダス先ヅ戰没者ノ一ニ加ハル。

彼レノ死骸ヲ越ヘテ戰爭ハ曾テアリシヨリモ尙烈シクアリシ、而シテザークセスノ兄弟ナル二人ノ波斯ノ公子ハ其處ニ殺サレテアリシ、乍併遂ニハイダーチスガ從ヲ越エタリ。而シテ僅ニ殘ル所ノ人々ガ斯様ニシテ總テノ傍ラニ於テ閉込メラレシ。ノ語ガ持來タサレシ。

(譯)レオニダス既ニ斃レテ戰ヒ弱々劇烈ナリ、波斯王ザークセスノ二弟此ニ戰没ス。然レドモハイダーチス山徑ヲ越エタリ、僅々若干ノ殘兵ハ四周敵兵ノ圍繞スル。

スパルター人及ビスエスピア人ハ、之レヲシテ彼等ノ最後ノ立脚ノ場所テアラシムベク決定シテ壁ノ裡ノ小丘ニマテ彼等ノ道ヲナセシ、乍併ビスエバン人ノ心ガ彼等ヲ錯マリシ而シテ彼等ハ慈悲ニ向ツテノ懇願ニ於テ彼等ノ手ヲ外ニ保チツ、波斯人ノ方ニ行キシ。助命ガ彼等ニ與ヘラレシ、乍併彼等ハ總テ不信ナル價ノ見捨人トシテ王ノ徽號ヲ以テ烙印セラレシ。奴隸ガ蓋シ此時ニ於テ山ニマテ逃レシ然ル間小サキ絶望シタル隊ハ太陽ガ下リシ時ニ一ツノ生存スル所ノ人が殘ラザリシマテ或モノハ劍ヲ以テ、他ノモノハ短刀ヲ以テ他ノ者ハ彼等ノ手及ビ齒ヲ以テラスラモ、尙ホ最后ニマテ戰ヒツ、小丘ノ上ニ肩ヲ並ベテ立チシ。其處ニ只矢ヲ以テ起ル所ノ殺戮ノ丘ガアリシ。

(譯)スパルター人及ビスエスピア人ハ陣營内ノ小丘ニ到リ此ヲ以テ其末期ノ立脚地ト決セリ、然レドモビスエバン人ノ怯心其方向ヲ誤リ鬪死ノ決斷ヲ爲ス能ハズシテ、手ヲ束テテ波斯人ノ方ニ進ミ行キテ哀ヲ懇請ス。則チ其生命ヲ救フヲ得タレドモ、眞價ナキ逃走人トシテ王ノ徽號ヲ烙印セラレタリ。惟フニスパーター人ノ懇願請願ハ此時山中ニ遁逃セルナルベシ之ニ反シテ望ミテ絶アル小隊ハ或ハ劍ヲ舞ハシ或ハ短刀ヲ擲シ、甚シキハ唯其手ト齒トヲ以テ格闘シ丘上ニ肩ヲ並ベテ最後ノ期ニ至ル、而シテ日西嶺ニ春ク比ヒ一人ノ生存スルモノアラズ。爰ニ戰後ノ地ヲ見ルニ是レ堆積セル弓箭ト屍ノ丘ヲ築ケルノミ。

二萬ノ波斯人ハ人々ノ其一擲ノ前ニ死シナセシヨ。ザークセスハ其處ニ此等ノ如キ多ク尙多クガスパトタニ於テアリシカタダマラタスニ問ヒシ、而シテ其處ニ八千ガアリシト告ケラレシ。彼レハ彼レガ敢テ彼レニ反對シナセシ所ノ人々ニマナナセシ所ノモノヲ見ルベク艦隊カラ彼レノ廷臣ヲ誘ヒシコトノ其レガ稍々弱ル所ノ心ヲ以テアツタチハナラヌ、而シテ十字架ノ上ニ置カレタルレオニダスノ頭ト而シテ腕ヲ彼等ニ示セシ、乍併彼レハ一千ノ外總テノ彼レノ殺戮ガ最初見エノ外ニ置カレルデアラウ所ノ注意ヲ取リシ。

(譯備々ナル希臘軍ニ對シテ波斯兵ノ戰死スルモノニ及ブザークセスアマラタスニ問フテ曰ク斯ノ如キ勇兵尙スパトタニ於テ多クアル乎ト乃チ答ヘテ八千人アリト云フザークセス其海軍ノ艦艦ニ搭載セル自國ノ廷臣ヲ召シ寄セ、我軍ニ抗セル敵兵ノ所爲如何ヲ見セシメ且ツレオニダスノ死骸(十字架ニ縛シヨリ)ヲ歸示ス、然ルニ二万ノ戰死ノ内唯一千ヲ醫シ餘ハ人目ニ觸レザルヤウ最初ニ注意シタリ。

勇敢ナル王ノ骸ハ他ノ死亡者ノ其等ガアリシ如ク彼レガ斃レシ所ニ埋メラレシ。彼等ハ怯懦ノ外一ツノ名ニ依ツテ呼バレズニ而シテ彼レノ同邑ノ全テニ依ツテ忌避セラレテ彼自身ヲ見出セシ所ノ不幸ナルアリストデマスニ依ツテ多ク羨マレテアリシ。一人ガ火或ハ水ヲ彼レニ與ヘヌテアラウ而シテ不幸ノ年ノ後チ彼レハ希臘カラ不名譽ニ波斯人ヲ追ヒシ所ノ最後ノ可憐ナルノ所ナリ。

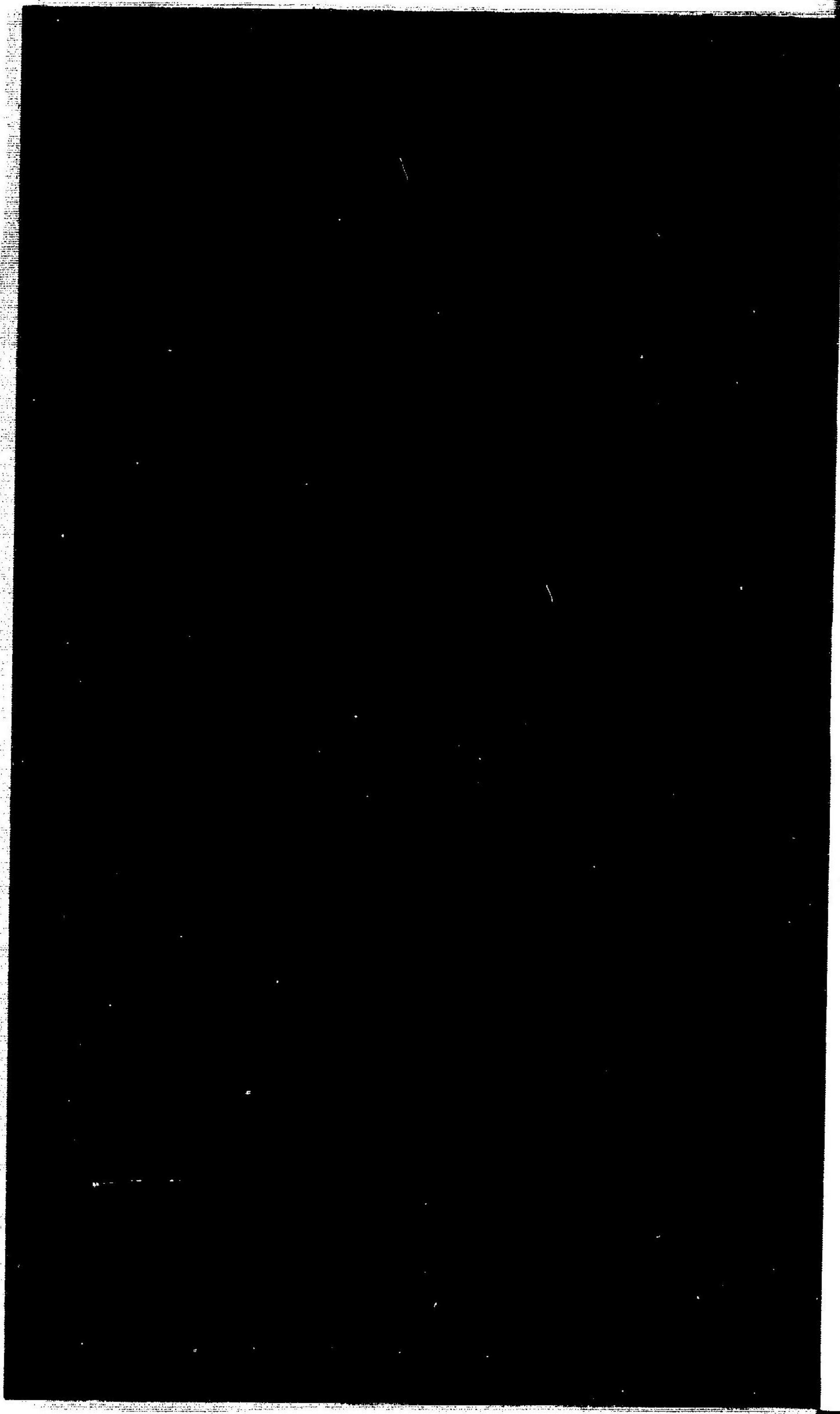
二萬ノ波斯人ハ人々ノ其一握ノ前ニ死シナセシヨ。ザークセスハ其處ニ此等ノ如キ多ク尙多クガスパータニ於テアリシカタダマラタスニ問ヒシ、而シテ其處ニ八千ガアリシト告ケラレシ。彼レハ彼レガ敢テ彼レニ反對シナセシ所ノ人々ニマテナセシ所ノモノヲ見ルベク艦隊カラ彼レノ廷臣ヲ誘ヒシコトノ其レガ稍々弱ル所ノ心ヲ以テアツタテハナラヌ、而シテ十字架ノ上ニ置カレタルレオニダスノ前ト面シテ腕ヲ彼等ニ示セシ、乍併彼レハ一千ノ外總テノ彼レノ殺戮ガ最初見エノ外ニ置カレルデアラウ所ノ注意ヲ取リシ。

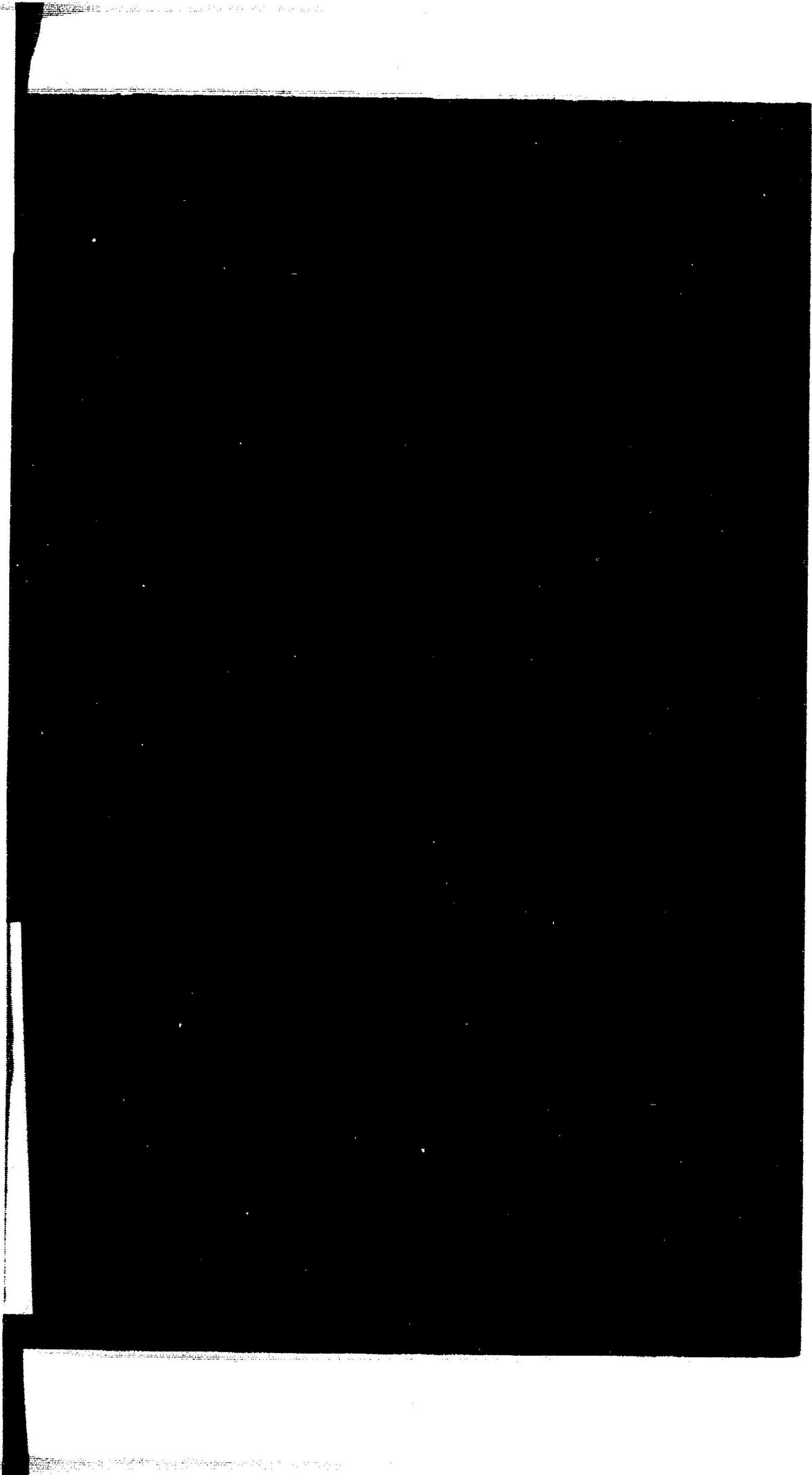
(譯) 僅々ナル希臘軍ニ對シテ波斯兵ノ戰死スルモノニ万ニ及ブ。ザークセスデマラタスニ問フテ曰ク、斯ノ如キ勇兵尙スパータニ於テ多クアル乎ト乃チ答ヘテ八千人アリト云フ。ザークセス其海軍ノ戰艦ニ搭載セル自國ノ廷臣ヲ召シ寄セ、我軍ニ抗セル敵兵ノ所爲如何ヲ見セシメ且ツレオニダスノ死骸(十字架ニ縛シタリ)ヲ誇示ス、然ルニ二万ノ戰死ノ内唯一千ヲ殘シ餘ハ人目ニ觸レザルヤウ最初ニ注意シタリ。

勇敢ナル王ノ跡ハ他ノ死亡者ノ其等ガアリシ如ク彼レガ斃レシ所ニ埋メラレシ。彼等ハ怯懦ノ外一ツノ名ニ依ツテ呼バレズニ而シテ彼レノ同邑ノ全テニ依ツテ忌避セラレテ彼自身ヲ見出セシ所ノ不幸ナルアリストデマスニ依ツテ多ク羨マレテアリシ。一人ガ火或ハ水ヲ彼レニ與ヘヌテアラウ而シテ不幸ノ年ノ後チ彼レハ希臘カラ不名譽ニ波斯人ヲ追ヒシ所ノ最後ノ可憐ナルノ所ニシテ、...

欠

MISSING





特27

393

ニユーナショナル

第五読本直訳講義

4

国立国会図書館